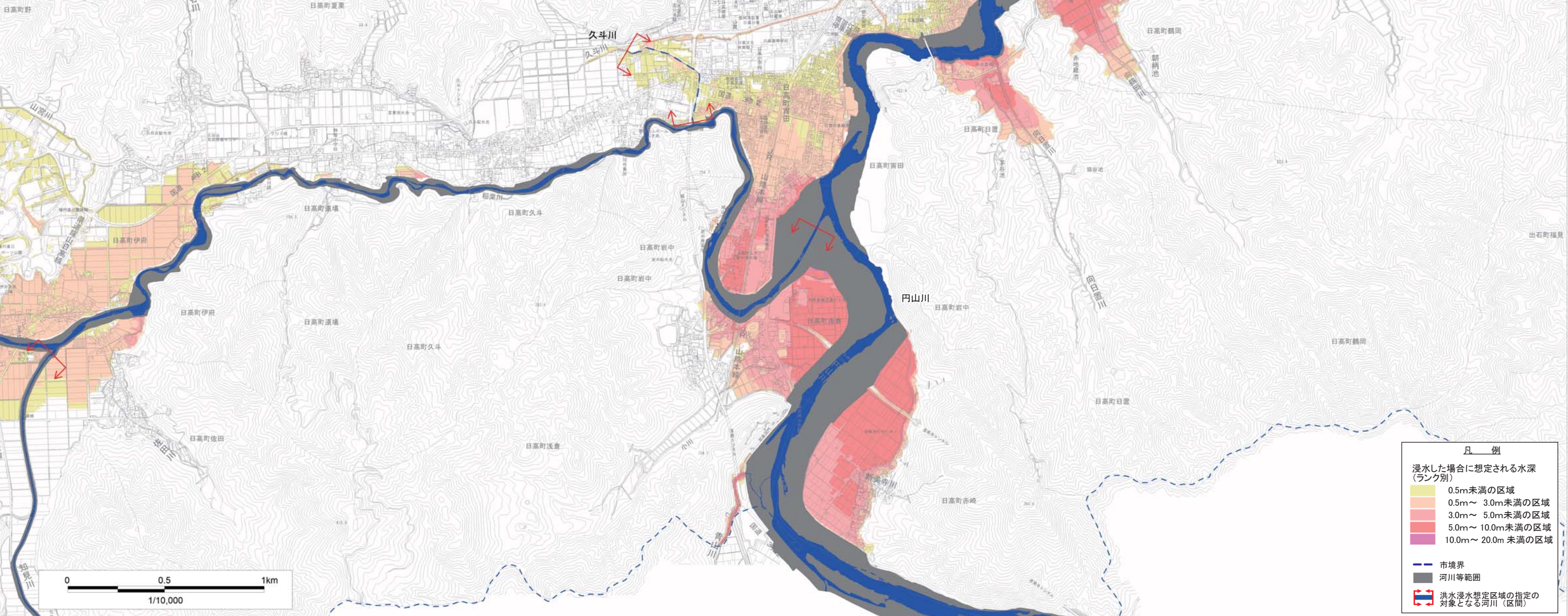


円山川水系 洪水浸水想定区域図

(計画規模) 7/15

- 1 説明文
 - (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨（以下、「計画降雨」という。）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
 - (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
 - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、氣比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下藤井川、大深川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大瀬川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、薬王寺川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
(指定県民局（センター）：但馬県民局)
 - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
 - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 327mm(立野地点)
 - (6) 関係市町 豊岡市
 - (7) その他の計算条件等
 - ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25m（一部5m）のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は25m（一部5m）メッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。



この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。

円山川水系 洪水浸水想定区域図

(計画規模) 8/15

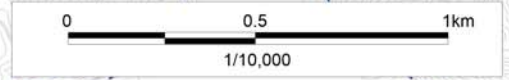
- 1 説明文
- この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨（以下、「計画降雨」という。）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。
 - この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- 作成主体 兵庫県
 - 公表年月日 令和元年8月30日
 - 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大鷲川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大瀬川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、薬王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、鳴川、田多地川
- (指定県民局（センター）：但馬県民局)
- その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
 - 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 327mm(立野地点)
 - 関係市町 豊岡市
 - その他の計算条件等
 - この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破壊した場合の浸水状況は図示していません。
 - この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - 氾濫計算は対象区域を25m（一部5m）のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は25m（一部5m）メッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡 例

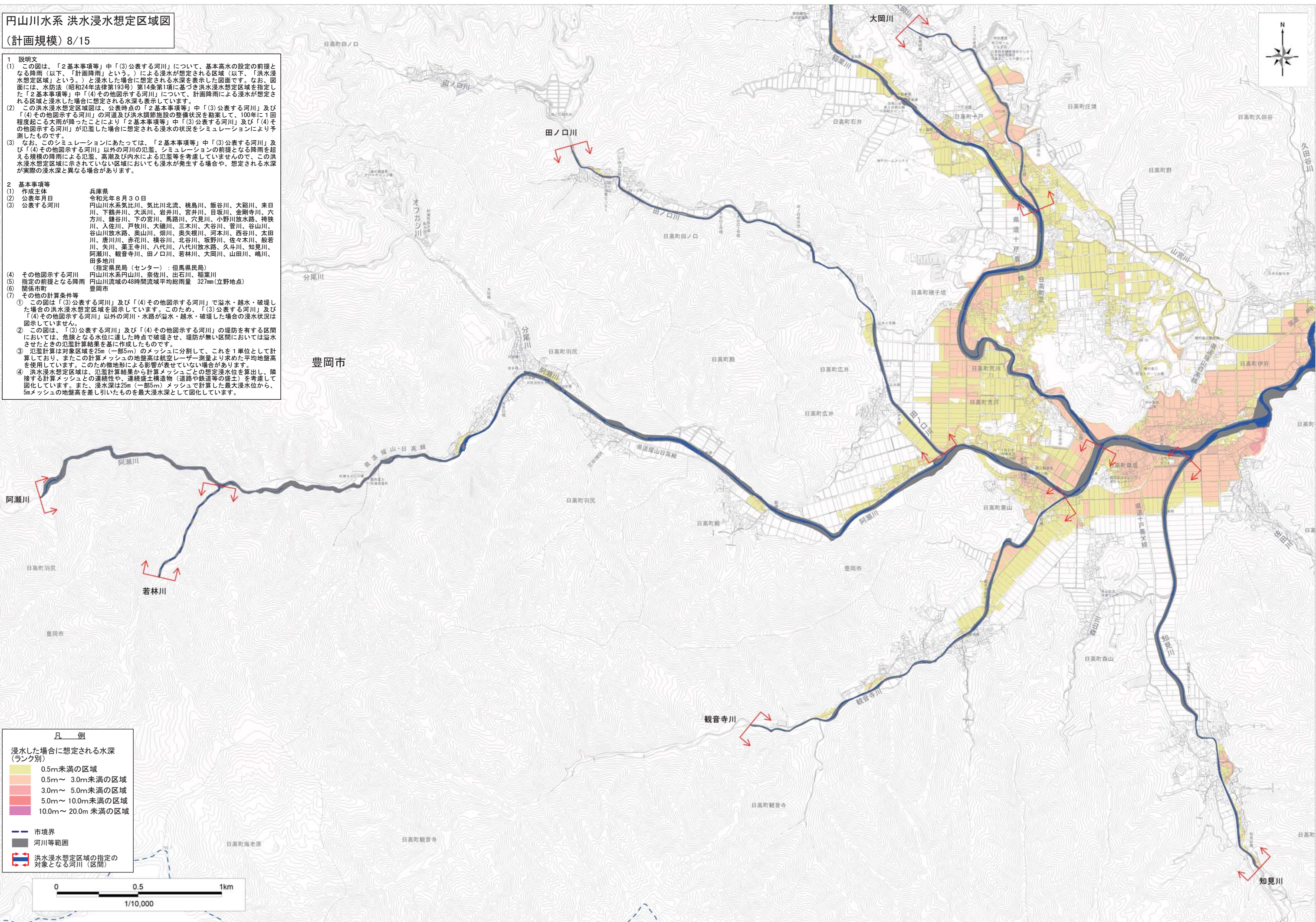
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～ 3.0m未満の区域
- 3.0m～ 5.0m未満の区域
- 5.0m～ 10.0m未満の区域
- 10.0m～ 20.0m 未満の区域

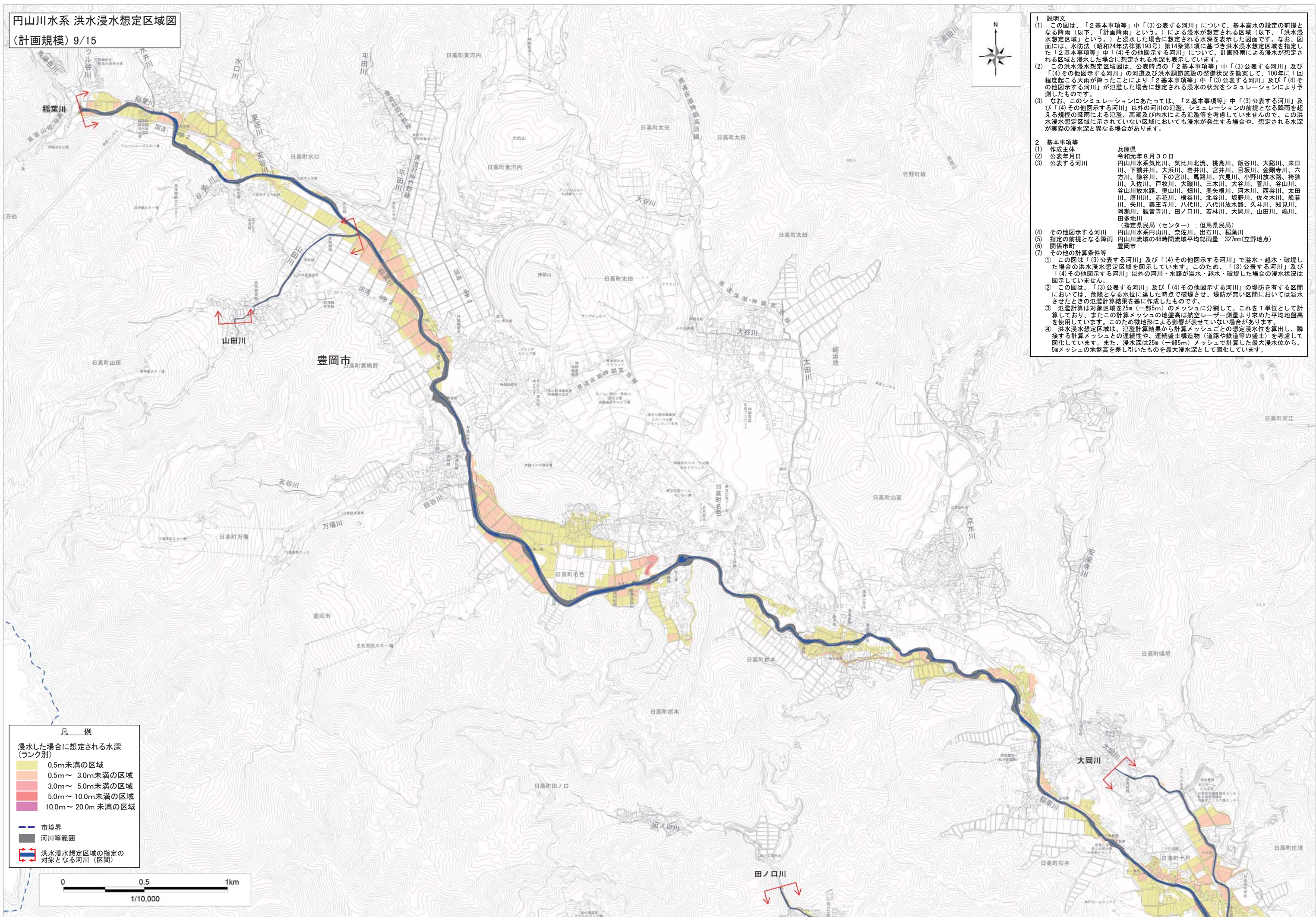
- 市境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川（区間）



この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。



円山川水系 洪水浸水想定区域図
(計画規模) 9/15

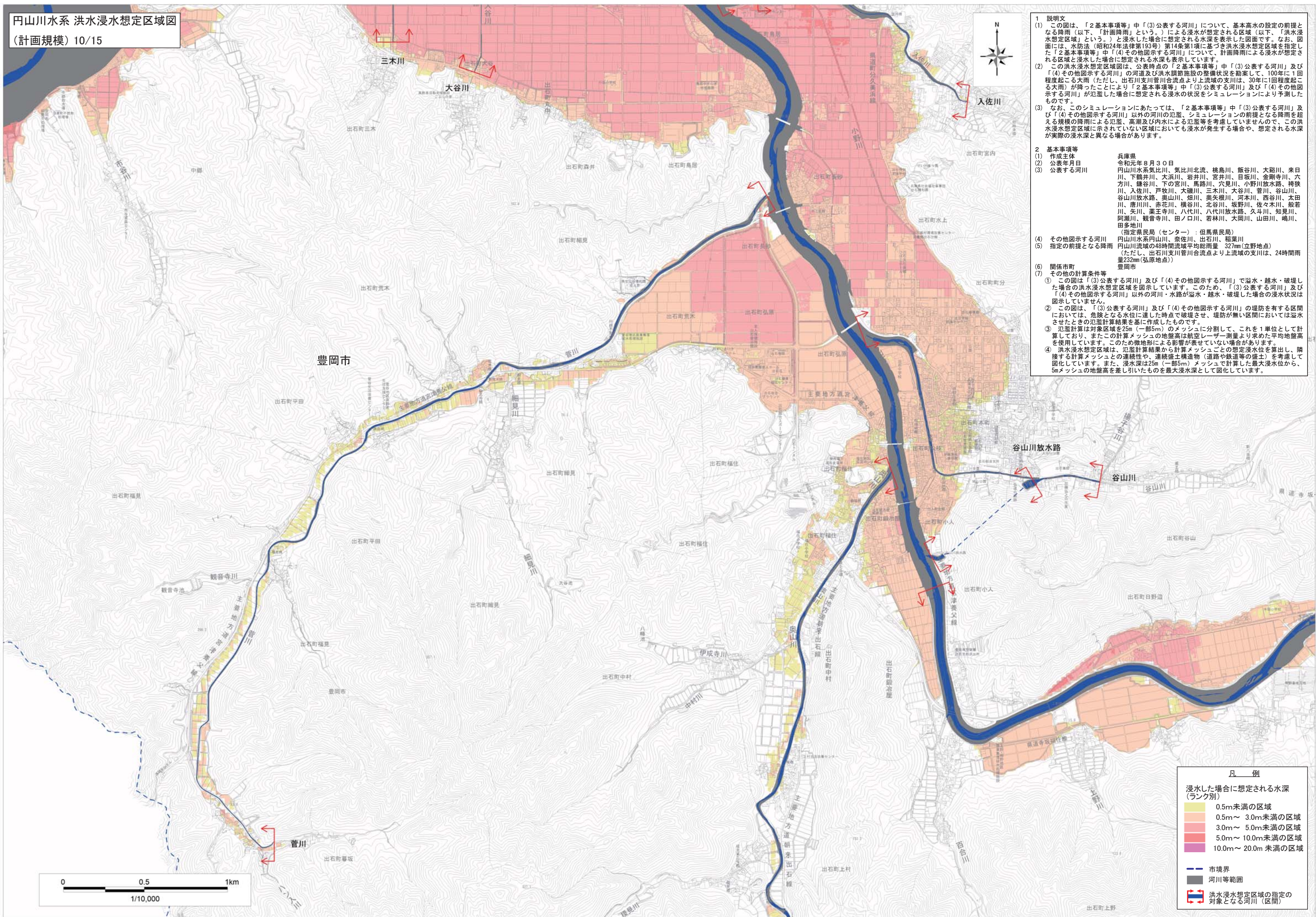


- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
 - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴袴川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、殿若川、矢川、義王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、鳴川、田多地川
(指定県民局(センター): 但馬県民局)
 - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
 - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 327mm(立野地点)
 - (6) 関係市町 豊岡市
 - (7) その他の計算条件等
 - ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破壊した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25m(一部5m)メッシュで計算した最大浸水水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。

円山川水系 洪水浸水想定区域図

(計画規模) 10/15

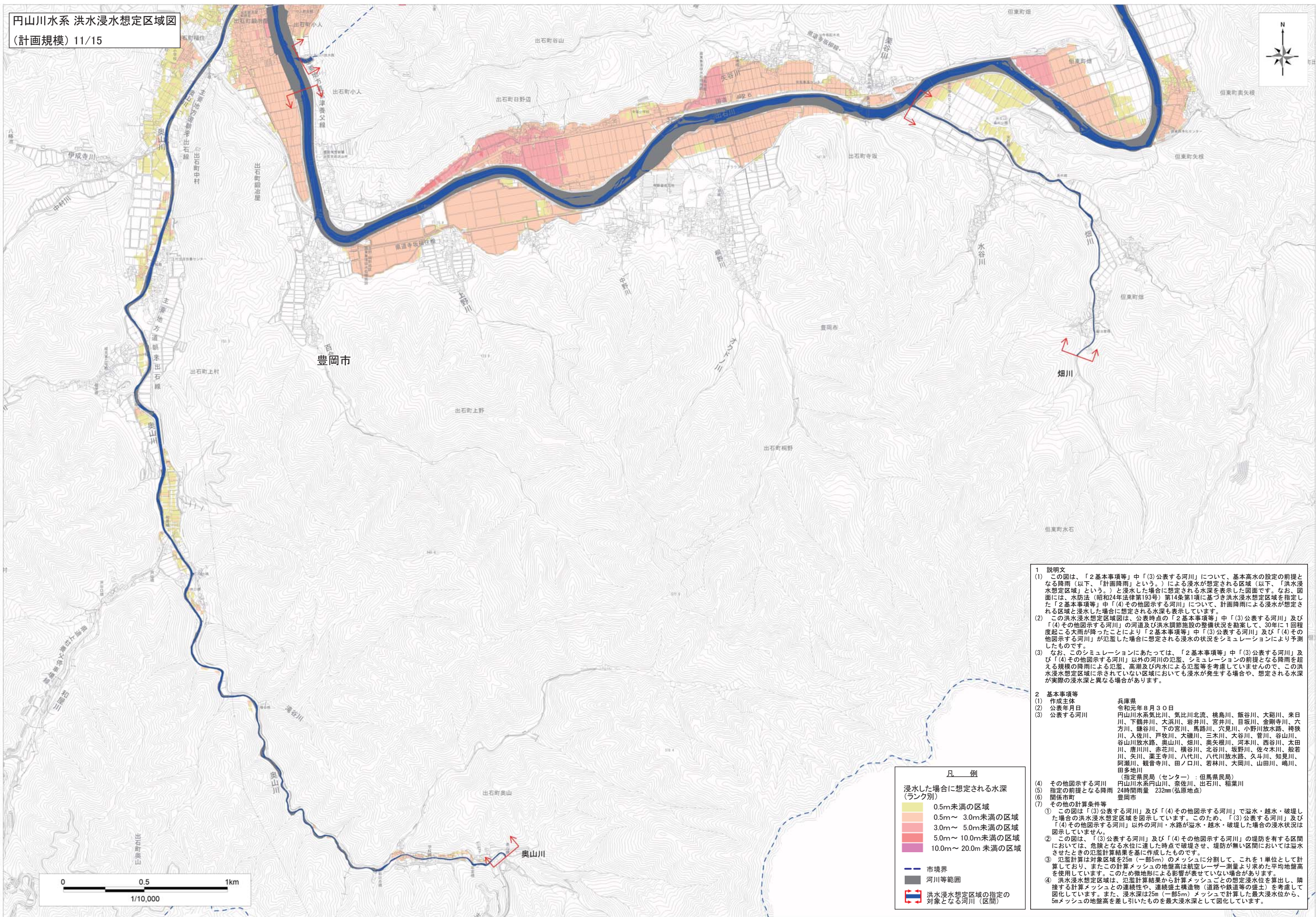


- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨(ただし、出石川支川菅川合流点より上流域の支川は、30年に1回程度起こる大雨)が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
 - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、末日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川、赤花川、横谷川、坂野川、佐々木川、般若川、安川、糞王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川(指定県民局(センター):但馬県民局)
 - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲妻川
 - (5) 指定の前提となる降雨 円山川流域の48時間流域平均総雨量 327mm(立野地点)(ただし、出石川支川菅川合流点より上流域の支川は、24時間雨量232mm(弘原地点))
 - (6) 関係市町 豊岡市
 - (7) その他の計算条件等
- ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
- ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
- ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
- ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25m(一部5m)メッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
0.5m未満の区域	黄緑色
0.5m～ 3.0m未満の区域	オレンジ色
3.0m～ 5.0m未満の区域	赤色
5.0m～ 10.0m未満の区域	赤紫色
10.0m～ 20.0m未満の区域	紫
市境界	青い線
河川等範囲	黒い線
洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)	赤い矢印

この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。



1 説明文

(1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、30年に1程度度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 兵庫県
(2) 公表年月日 令和元年8月30日
(3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、横島川、飯谷川、大鷲川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、糞王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
(指定県民局(センター)：但馬県民局)
(4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
(5) 指定の前提となる降雨 24時間雨量 232mm(弘原地点)
(6) 関係市町 豊岡市
(7) その他の計算条件等

① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破壊した場合の浸水状況は図示していません。

② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため地形による影響が表せていない場合があります。

④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性を、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25m(一部5m)メッシュで計算した最大浸水水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡 例

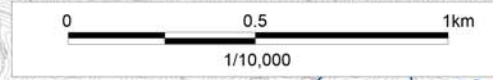
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～ 3.0m未満の区域
- 3.0m～ 5.0m未満の区域
- 5.0m～ 10.0m未満の区域
- 10.0m～ 20.0m 未満の区域

— 市境界

— 河川等範囲

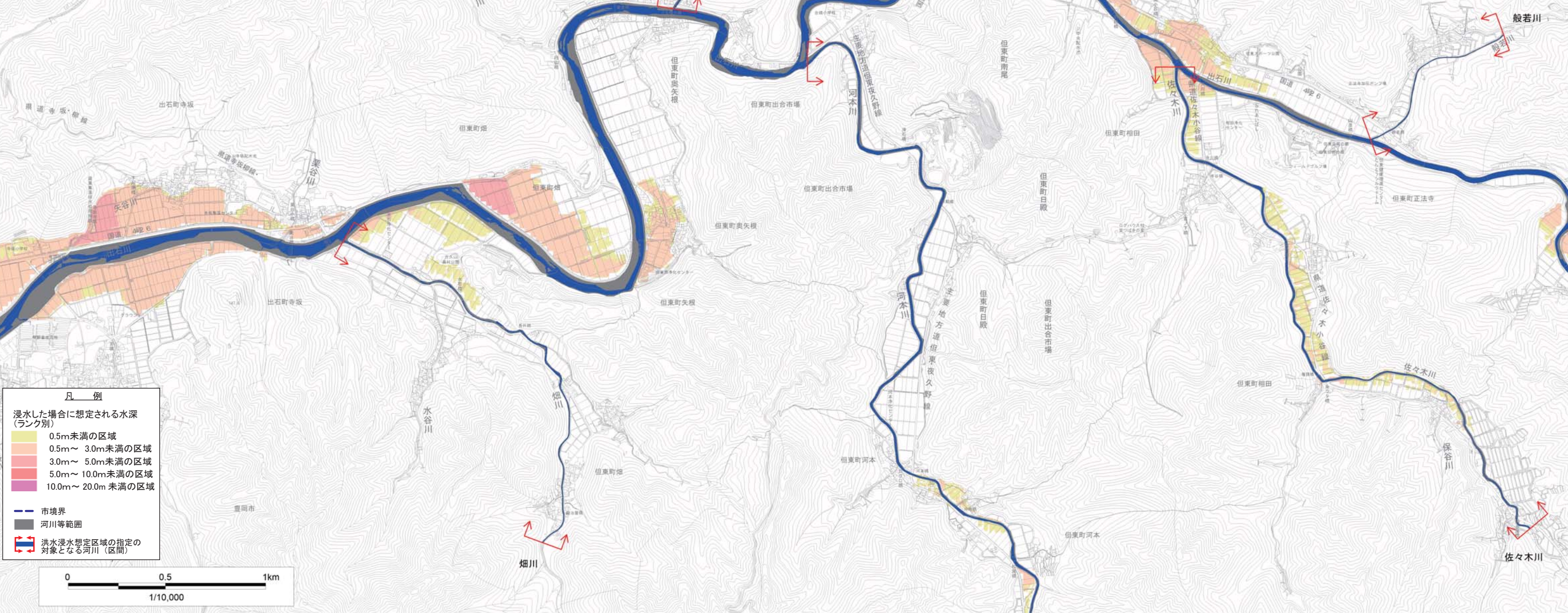
— 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)



円山川水系 洪水浸水想定区域図

(計画規模) 12/15

- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨（以下、「計画降雨」という。）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
 - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大露川、来日川、下藤井川、大深川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大瀬川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、薬王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
 - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
 - (5) 指定の前提となる降雨 24時間雨量 232mm(弘原地点)
 - (6) 関係市町 豊岡市
 - (7) その他の計算条件等
 - ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25m(一部5m)メッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。



凡 例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域

- 市境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)

この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。

円山川水系 洪水浸水想定区域図

(計画規模) 13/15

- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
 - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下藤井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大瀬川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、薬王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
(指定県民局(センター)：但馬県民局)
 - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
 - (5) 指定の前提となる降雨 24時間雨量 232mm(弘原地点)
 - (6) 関係市町 豊岡市
 - (7) その他の計算条件等
 - ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25m(一部5m)メッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡 例

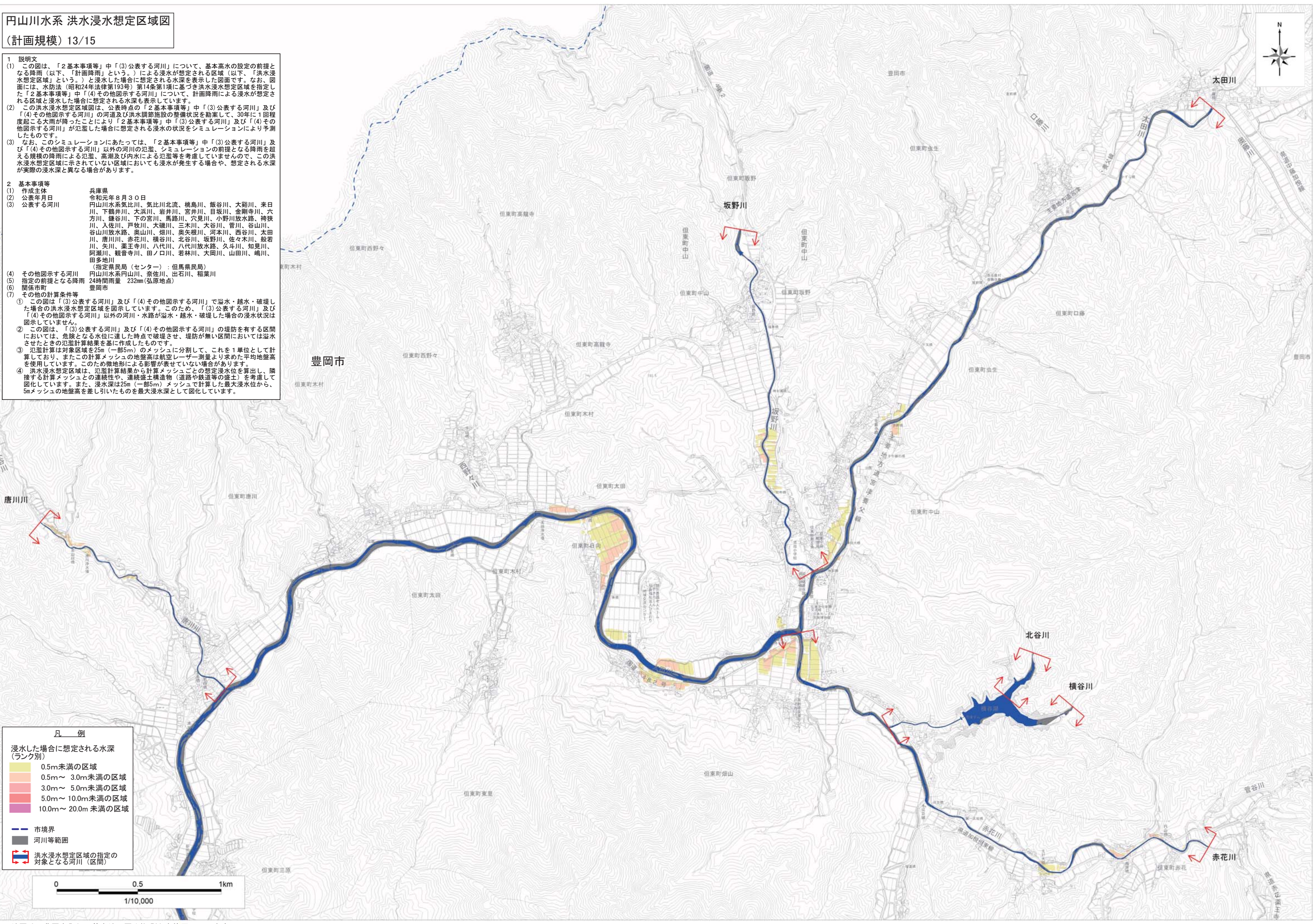
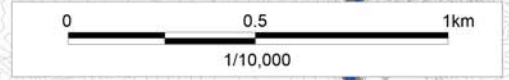
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域

市境界

河川等範囲

洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)



この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。

円山川水系 洪水浸水想定区域図
(計画規模) 14/15



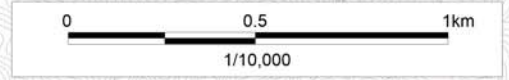
- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和元年8月30日
 - (3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、義王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、鳴川、田多地川
 - (4) その他図示する河川 円山川水系円山川、奈佐川、出石川、稲葉川
 - (5) 指定の前提となる降雨 24時間雨量 232mm(弘原地点)
 - (6) 関係市町 豊岡市
 - (7) その他の計算条件等
 - ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破壊した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25m(一部5m)のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25m(一部5m)メッシュで計算した最大浸水水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡 例

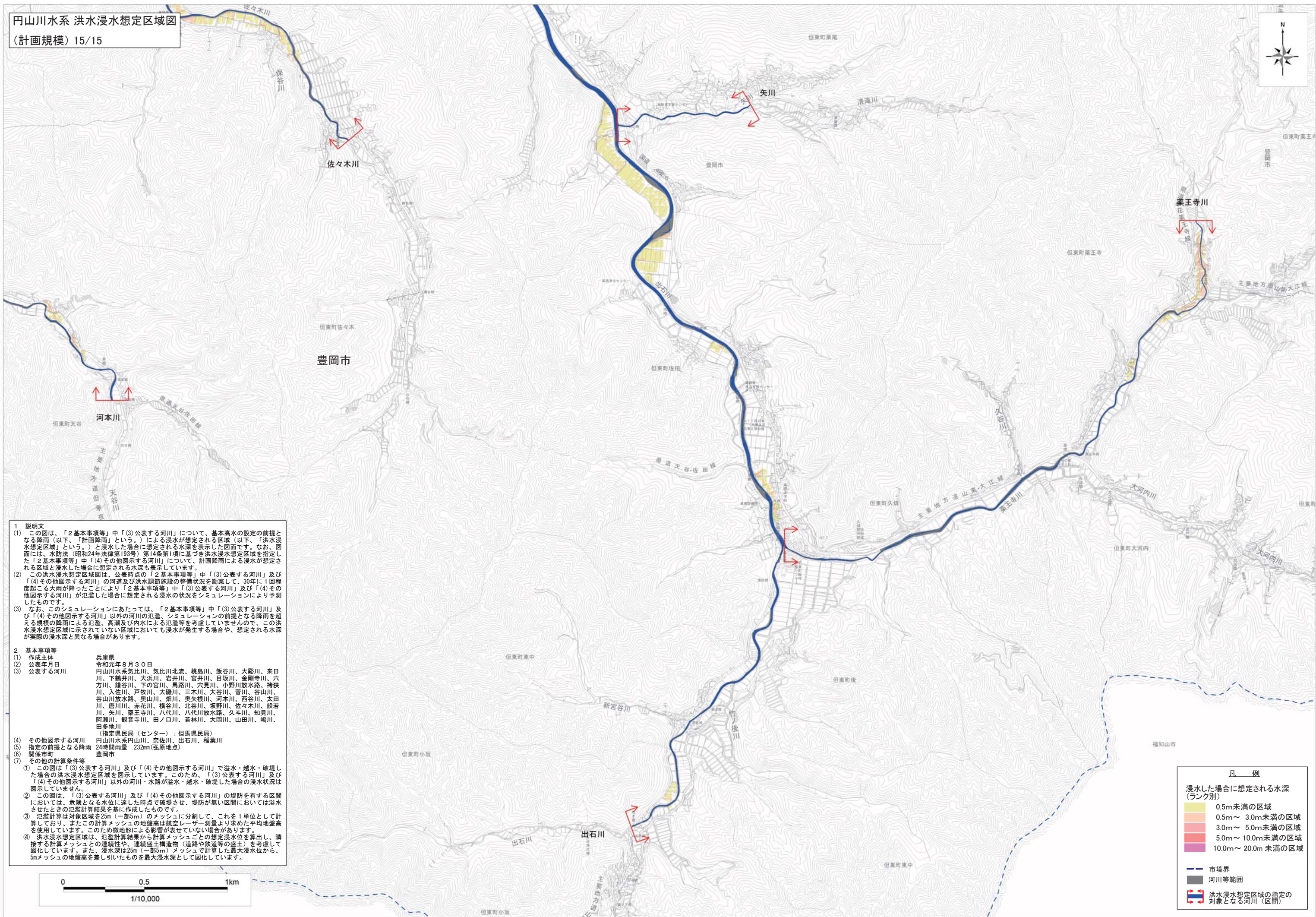
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域

- 市境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川(区間)



この地図は、豊岡市発行の基本地形図 1/2,500 を使用しています。



1 説明文

(1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨（以下、「計画降雨」という。）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他図示する河川」について、計画降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 兵庫県
(2) 公表年月日 令和元年8月30日
(3) 公表する河川 円山川水系気比川、気比川北流、桃島川、飯谷川、大谷川、来日川、下鶴井川、大浜川、岩井川、宮井川、目坂川、金剛寺川、六方川、鎌谷川、下の宮川、馬路川、穴見川、小野川放水路、袴狭川、入佐川、戸牧川、大磯川、三木川、大谷川、菅川、谷山川、谷山川放水路、奥山川、畑川、奥矢根川、河本川、西谷川、太田川、唐川川、赤花川、横谷川、北谷川、坂野川、佐々木川、般若川、矢川、薬王寺川、八代川、八代川放水路、久斗川、知見川、阿瀬川、観音寺川、田ノ口川、若林川、大岡川、山田川、嶋川、田多地川
(指定県民局（センター）：但馬県民局)

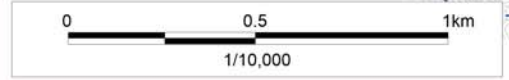
(4) その他図示する河川 円山川水系円山川、薬佐川、出石川、稲葉川
(5) 指定の前提となる降雨 24時間雨量 232mm(弘原地点)
(6) 関係市町 豊岡市
(7) その他の計算条件等

① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。

② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他図示する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は対象区域を25m（一部5m）のメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。

④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は25m（一部5m）メッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。



凡 例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～ 3.0m未満の区域
- 3.0m～ 5.0m未満の区域
- 5.0m～ 10.0m未満の区域
- 10.0m～ 20.0m 未満の区域

— 市境界
 ■ 河川等範囲
 ⇄ 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川（区間）